



エントランスには、誰もが一度は手にしたことがあるマーカーペンがズラリ!あれにもこれにも、テイボーのペン先が使われていると思うと感慨深いのお。皆の衆、これからマーカーを使用する際はペン先に注目じゃよ!



用途に応じてさまざまな素材を加工し、最適なペン先へと仕上げていくのじゃ。特に、油性マーカーやホワイトボードマーカーなどに使用される「アクリル繊維ペン先」はテイボーのバイオニア技術なんじゃよ。



顕微鏡でペン先の断面を見せてもらったのじゃ。変わった形状じゃのお…。どうやら、このキャピラリー(毛细管)と呼ばれる異形断面を成形できるのが、テイボーのすごいところらしいのじゃ! このおかげで、液体インクをちょうど良い具合に、ペン先に浸透させることができるらしいんじゃよ

すごい技術に  
支えられて  
いるんじゃな



メイド イン ハママツ!  
テイボーのペン先を  
紹介するのじゃ!



あなたの使っている、そのペンも!?

# 高技術の マーキングペン先で 世界シェアNo.1

## テイボー株式会社

ペン先事業のほかに、今最も力を入れているのがコスメティック事業だそうじゃ。「コスメ新用途推進室」という新しい部署も新設されたそうじゃよ。



現在、テイボーのトータル技術は、ペン先以外のさまざまな分野からも注目されてお

創業は1896年。高級紳士帽子を製造する「帝國製帽株式会社」としてスタートし、東京オリンピックでは、日本選手団着用帽子に採用された。その後、帽子の需要が減少していく中で、帽子製造で培ったフェルト加工技術を活かし、マーキングペン先の開発・製造に着手。フェルトペン先を足がかりに、合成繊維ペン先、プラスチックペン先を開発し、高度な技術と高品質性、低コストの生産体制に評価が集まり、業界のリーディングカンパニーへと成長を遂げていった。

紙上を滑るように色づけしていく、カラフルなマーキング線。なかなか注目されることは少ないが、マーキングペンのペン先には、形状、太さ、耐久性、書き味など、科学的分析に基づいた高度な技術が詰め込まれているのをご存知だろうか。そんなマーキングペン先、実に世界の50%を製作しているのが、テイボー株式会社である。その数、年間約2400品種、月産約3億5000本。業界内では言わずと知れたマーキングペン先の世界シェアNo.1企業である。



スラスラ〜♪  
なんて心地良い  
書き味なのじゃ!



これが、東京オリンピックで日本選手団が着用した帽子じゃよ!



テイボー株式会社

浜松市中区宿1-2-1 TEL.053-461-3191  
<http://www.teibow.co.jp/>

り、コスメティックやエアケア、クリナー、タッチペン、医療用カテーテルなどへの応用展開を見せている。また、平成6年には「MI-M(金属射出成形)事業」を立ち上げ、微細かつ精密な金属加工技術での事業拡大も目指しているそうじゃ。

帽子からペン先へと引き継がれたテイボーの技術は、今、新たなフィールドへ。それがどんな分野であろうとも、挑む道のは心地良い書き味で、スーツと真つぐ、カラフルなものであるだろう。